

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に沿った介護をする上で職員一人ひとりが目標を掲げているか。	職員一人ひとりが業務をする上で目標を持ち向上心が持てるよう見直す。	一人ひとりに目標を書いてもらい、各ユニット、玄関などに公表し、意欲を仰ぐ。	0.5カ月
2	2	地域と事業所の関わりをもっと増やしていく。どう呼びかけて地域の一員として交わっていくか。重度の利用者に手を取られてしまい、軽度の利用者が、優先されない。	地域の催しや、ボランティアの訪問、近隣への外出を増やすことで軽度な利用者にも満足感を味わって頂き、地域交流にもつなげる。	9月26日に行われる近隣保育園の運動会の予行練習に招かれた為、計画を立て、一人でも多くの利用者をお連れし、地域交流を図る。	0.5カ月
3	4	運営推進会議の開催とともに家族会を行い、法改正があったときなどに行政から説明をして貰ったほうが家族がわかりやすい。	運営推進会議と併せて家族会の計画を立て、グループホームの在り方やご家族の意見討論の場を設ける。	2カ月ごとの召集は難しいので年に2回ほど呼びかけ、ご家族の疑問などを早期解決し、施設運営の向上につなげる。	12カ月
4	35	防災訓練などを定期的に行ったり、緊急時の対策をマニュアル化したりして災害時に備えてはいるが、具体化したり、地域に啓発する必要性がもっと強くなくてはならない。	常からグループホームの存在をアピールしたり、夜間を想定した防災訓練を行ったり、伝言ダイヤルを活用させたりして、緊急時に備え、対策を強化する。	ハザードマップを職員が常備し、緊急時に備えられるようにする。地域に対して施設側ができることをアピールし、一方的に支援を求めるだけでなく、施設としてできることを前面に押し出していく。	12カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出して下さい。(提出必須)